

作成日：2013 年 08 月 22 日

改訂日：2025 年 06 月 24 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

1. 1 製品特定名 : PLT-PC/ABS (BK) -F [板]
1. 2 製品の推奨用途と使用上の制限
 - (1) 推奨用途
電気・電子、半導体の製造装置、工業用途の装置部品用材料など
 - (2) 使用上の制限
医療用途、体内埋め込み用途には使用しないこと。
食品容器用途に使用される場合は、その具体的用途および使用方法について、必ず事前にご相談下さい。
1. 3 供給者の詳細
 - (1) 会社名 : 東レプラスチック精工株式会社
 - (2) 住所 : 〒103-0021
東京都中央区日本橋本石町4丁目6番7号 日本橋日銀通りビル3階
 - (3) 担当部署 : 品質保証部
 - (4) 電話番号・FAX番号 :

東京押出販売課	TEL:03-3241-6816	FAX:03-3270-5247
大阪押出販売課	TEL:06-6443-9296	FAX:06-6448-0372
名古屋押出販売課	TEL:052-581-1516	FAX:052-581-1839
海外押出販売課	TEL:03-3241-6816	FAX:03-3270-5247

2. 危険有害性の要約

2. 1 化学物質または混合物の GHS 分類
本製品は、成形品（アーティクル）であり、GHS 分類の対象外です。
2. 2 GHS ラベル要素
対象外
2. 3 GHS 分類に該当しない他の危険有害性
溶融時に発生するガスは、眼や皮膚、呼吸器系を刺激します。
サンディング、研磨あるいは切断等の加工時に発生する粉塵を長期間もしくは反復して吸入暴露すると、肺障害を生じる恐れがあります。
製品の角による切創及び落下による挫傷の恐れがある。
2. 4 重要な徴候および想定される非常事態の概要
特になし

3. 組成、成分情報

3. 1 化学物質・混合物の区分 : 成形品（アーティクル）
3. 2 化学名（一般名） : ポリカーボネート(PC)/アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合体(ABS)との混合物。
3. 3 別名（通称、略称） : PC/ABS樹脂
3. 4 組成・成分情報
 - (1) 主成分
化学名 : ポリカーボネート(PC)

含有量 : $\geq 55 \sim < 75 \text{wt}\%$
 CAS No. : 25971-63-5
 化審法番号 : —
 安衛法番号 : —

化学名 : アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合体(ABS)
 含有量 : $\geq 5 \sim < 25 \text{wt}\%$
 CAS No. : 9003-56-9
 化審法番号 : 6-176
 安衛法番号 : 6-176

化学名 : リン系難燃剤
 含有量 : $\geq 5 \sim < 25 \text{wt}\%$
 CAS No. : 非公開
 化審法番号 : 非公開
 安衛法番号 : 非公開

化学名 : カーボンブラック
 含有量 : $\geq 0.1 \sim < 1 \text{wt}\%$
 CAS No. : 1333-86-4
 化審法番号 : 5-5222
 安衛法番号 : 5-5222

4. 応急措置

4. 1 必要な応急措置の説明

- (1) 吸入した場合 : 樹脂の溶融時に発生するガスを吸入して気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所へ移動し、回復を待って下さい。回復しない場合には、医師の診断を受けて下さい。通常では該当しませんが、熱分解による発生ガスを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、回復を待って下さい。回復しない場合には、医師の診断を受けて下さい。サンディング、研磨あるいは切断等の加工時に発生する粉塵を大量に吸入したことによって、咳や胸苦しさ等の呼吸器系の症状が生じた場合には、直ちに空気の清浄な場所へ移動して下さい。呼吸困難の場合には酸素を与え、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- (2) 皮膚に付着した場合 : 粉塵が付着した場合には石鹼と流水で十分に洗い流して下さい。溶融物が付着した場合には、直ちに清浄な水で冷却して下さい。皮膚の上で固まった樹脂は無理に剥がさず、十分に冷却させてから速やかに医師の診断を受けて下さい。
- (3) 眼に入った場合 : 速やかに流水にて15分間以上の洗浄を行って下さい。眼をこすらないで下さい。洗眼は瞼を指で開いて行なって下さい。刺激等の異常が認められる場合には眼科医の診断を受けて下さい。
- (4) 飲み込んだ場合 : できるだけ吐き出し、不快感が残るようであれば医師の診断を受けて下さい。

4. 2 最も重要な急性症状および遅発性症状

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

5. 火災時の措置

5. 1 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
5. 2 特有の危険有害性
火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
5. 3 特有の消化方法
汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
加工機には水をかけないようにして下さい。
5. 4 消火を行う者の保護
消火作業従事者は必ず呼吸保護具と適切な保護具を着用して下さい。

6. 漏出時の措置

6. 1 人体に対する注意事項、保護具、および緊急時措置
機械加工時の切屑や切粉を床にこぼした場合は、転倒の恐れがあるので、ほうきや掃除機等で全量回収して下さい。(廃棄方法は廃棄上の注意に従って行なう)
粉塵を吸い込まないように留意してください。
6. 2 環境に対する注意事項
細かい切屑や切粉は海洋生物、鳥類が摂取することを防止するために、全て回収して下さい。
6. 3 封じ込みと洗浄のための方法及び機材
掃き集めて、容器に回収したのち廃棄まで保管してください。粉塵が飛散しないようにして下さい。
6. 4 二次災害の防止策
付近の着火源となるものを取除いて下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

7. 1 安全な取り扱いのための注意事項
 - (1) 技術的な対策
 - A. 取扱者の暴露防止 :
サンディング、研磨あるいは切断等の加工時には、換気を行い、粉塵の吸入を避けるために、適切な呼吸保護具を着用して下さい。機械加工時、および熱処理時には有害なガスの吸入を避けるために、適切な呼吸保護具を着用して下さい。作業後には、手や顔の洗浄やうがいを行なって下さい。作業着は常に清浄なものを着用し、粉塵が付着した衣類は再使用前に洗濯して下さい。機械加工時には切屑、切粉が目に入るのを防止するために、保護眼鏡を着用して下さい。また一般に機械加工のときに推奨されている保護具を着用して作業して下さい。
 - B. 火災・爆発の防止 :
常温で引火、爆発の恐れはありませんが、近くで火気をみだりに使用しないで下さい。
 - (2) 局所換気・全体換気 :
溶融時に発生するガスや、加工時に発生する粉塵で作業場が汚染されないように、局所排気及び全体換気装置を設置して下さい。
 - (3) 安全取扱い注意事項
 - A. 取扱い 1 :
製品を運搬する時は滑り易いので滑り止めの付いた手袋を着用し安全靴を必ず履いて下さい。

- ①製品を一度に多量運搬する時には重量負荷を低減させる目的で、できるだけ助力装置を使用して下さい。
- ②製品を投げたり、落下させたりすると割れて飛散する可能性がありますので、丁寧に取扱い願います。
- ③製品のエッジ部で手を切り怪我をする恐れがありますので、滑り止めの付いた手袋を着用して下さい。

B. 注意事項 1 :

機械加工時、加工速度を極端に早くすると、製品が割れて飛散したり、加工面が溶融したりする可能性がありますので適切な条件で加工して下さい。もし溶融した場合は直接触れないで下さい。

(4) 適切な衛生対策 :

取扱い後は、手洗い、洗顔、うがいを十分に行なって下さい。
的確な工業衛生管理規則に則った換気及び清掃を実施して下さい。
作業着は再使用の前に洗濯して下さい。

7. 2 混触危険性を含む、安全な保管条件

(1) 技術的な対策 : 特に必要なし

(2) 適切な保管条件 :

直射日光の当たらない、熱、発火源から離れた場所で保管して下さい。
製品を立てかけて保管すると反りが発生するため、棚に水平に保管して下さい。
市町村条例に従って取り扱って下さい。

(3) 避けるべき保管条件 :

直射日光の当たらない、熱、発火源から離れた場所で保管して下さい。

(4) 安全な容器包装材料 : 特に必要なし

8. 曝露防止及び保護措置

8. 1 管理パラメーター

- (1) 管理濃度 : 現在ありません。
- (2) 許容濃度 : 製品事自体についての許容濃度は設定されていませんが、含有成分であるカーボンブラックについては日本産業衛生学会による許容濃度が勧告されています。

〈日本産業衛生学会〉

第2種粉塵(カーボンブラック): 吸入性粉塵 1mg/m³、総粉塵 4mg/m³

※発がん物質「第2群B」に分類される

〈ACGIH〉

カーボンブラック: TWA 3mg/m³

データのご使用にあたっては、最新版をご確認下さい。

(3) DNEL (導出無影響量) : 情報なし

(4) PNEC (予測無影響濃度) : 情報なし

8. 2 適切な設備対策

溶融時に発生するガスや、加工時に発生する粉塵で作業場が汚染されないように、局所排気及び全体換気を適切に行なって下さい。

粉塵を扱う場合は粉塵爆発対策をした密閉容器を使用して下さい。

8. 3 個人保護具

(1) 呼吸器用の保護具 :

機械加工、サンディング等の粉塵の発生する作業のときは、防塵マスクを着用して下さい。

(2) 手の保護具 :

溶融した樹脂を取り扱う場合には、火傷防止のため、耐熱手袋を着用下さい。

(3) 眼の保護 :

機械加工、サンディング等の作業のときは、保護眼鏡、ゴーグル等を着用下さい。

(4) 皮膚及び身体の保護具

溶融した樹脂を取り扱う場合には、火傷防止の為、長袖服、長ズボン、帽子を着用し露出部を可能な限り無くして下さい。必要に応じて腕カバーや保護面を使用して下さい。

9. 物理的及び化学的性質

9. 1 基本的な物性的及び化学的性質に関する情報

(1) 物理状態 : 板状固体物

(2) 色 : 黒色

(3) 臭気 : 常温ではほとんどなし。

(4) 融点／凝固点 : 明確な融点はない。90℃付近で徐々に軟化する。

(5) 沸点／沸点範囲 : データなし

(6) 可燃性(固体、気体) : 酸素指数 26 以上

(7) 可燃性(液体) : データなし

(8) 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし

(9) 引火点 : データなし

(10) 分解温度 : データなし

(11) pH : データなし

(12) 自然発火温度 : データなし

(13) 動粘度(動粘性率) : データなし

(14) 溶解度(水溶性) : 不溶

(15) n-オクタノール／水分配係数 : データなし

(16) 蒸気圧 : データなし

(17) 比重 : 1.19

(18) 相対ガス密度 : データなし

9. 2 その他情報

情報なし

10. 安定性及び反応性

10. 1 反応性 :

推奨している取扱い、貯蔵、使用条件では反応性はありません。

10. 2 化学的安定性 :

一般的な保管、取扱いでは安定と考えられます。

10. 3 危険有害反応可能性 :

一般的な保管、取扱いでは安定と考えられます。

10. 4 避けるべき条件 :

高温、直射日光、火気、熱源等

10. 5 混触危険物質 :

強酸化剤、強酸または極めて反応性の高い化学物質とは反応する可能性があります。

10. 6 有害な分解生成物 :

燃焼時には、有害なガスが発生する恐れがあります。検出限界程度の炭化水素分解物を含んでいる可能性があります。フェーノール類、アルキルフェノール類、

ジアリールカーボネート類、スチレン、アクリロニトリル、アクロレイン、アセトフェノン、アセトアルデヒド、クメン、アルファメチルスチレン、4-ビニルシクロヘキセン

1 1. 有害性情報

(1) 急性毒性 : 利用可能な情報に基づく限り分類されない。

【成分：カーボンブラック】

急性毒性（経口） : LD50（ラット） : > 8,000 mg/kg

(2) 皮膚腐食性／刺激性 : 利用可能な情報に基づく限り分類されない。

(3) 眼に対する重篤な損傷／刺激性 : 利用可能な情報に基づく限り分類されない。

但し、加熱、乾燥、溶融時に発生するガスは、皮膚、眼を刺激する事がある。

(4) 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 利用可能な情報に基づく限り分類されない。

(5) 変異原性（生殖細胞変異原性） : 利用可能な情報に基づく限り分類されない。

(6) 発がん性 : 利用可能な情報に基づく限り分類されない。

【成分：カーボンブラック】

カーボンブラックは IARC（国際癌研究機関） : グループ 2B（ヒトに対して発がん性を示す可能性がある）に分類されている。

(7) 生殖毒性 : 分類できない（記載すべきデータはない。）

(8) 特定標的臓器／全身毒性 - 単回暴露 : 臓器（呼吸器）の障害のおそれ

(9) 特定標的臓器／全身毒性 - 反復暴露 : 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（呼吸器）の障害のおそれ

【成分：カーボンブラック】

標的臓器 : 肺

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復ばく露、区分 1 に分類される。

(10) 誤えん有害性 : 分類できない（記載すべきデータはない。）

注）「データ無し」とは、一般的に有害性はないと考えられておりますが、現時点では、データなどを持ち合わせていないことを意味します。

1 2. 環境影響情報

1 2. 1 生態毒性

【成分：カーボンブラック】

魚毒性 : LC50 : > 1,000 mg/l

曝露時間 : 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 : > 5,600 mg/l

曝露時間 : 48 h

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 : > 10,000 mg/l

曝露時間 : 72 h

1 2. 2 残留性と分解性 : データなし

1 2. 3 生物蓄積性 : データなし

1 2. 4 土壤中の移動性 : データなし

1 2. 5 オゾン層への有害性 : 非該当

1 2. 6 その他有害影響 : データなし

1 3. 廃棄上の注意

1 3. 1 廃棄方法

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の「産業廃棄物（廃プラスチック類）」に該当しま

す。知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい（地方公共団体が処理を行なっている場合には、地方公共団体に委託する）。廃棄物の処理に関する法律、規則、条例等に則して処理を行って下さい。

14. 輸送上の注意

- 14. 1 国連番号、国連分類 : 該当しない
- 14. 2 国連出荷名 : 該当しない
- 14. 3 輸送時の危険性クラス : 該当しない
- 14. 4 容器等級 : 該当しない
- 14. 5 環境有害性 : 該当しない
- 14. 6 使用者のための特別予防措置 :
直接日光や風雨にさらされないようにカバーをしてください。梱包袋が破れないように乱暴な扱いを避けて下さい。高く積載するときは、荷崩れしないように取扱って下さい。
- 14. 7 MARPOL73/78 付属Ⅱおよび IBC Code によるバラ積輸送される液体物質 :
該当しない
- 14. 8 輸送上の国内規制 :
陸上輸送、海上輸送、航空輸送ともに該当しない
- 14. 9 輸送上の安全対策および条件 :
製品の破損がないように、投げたり落下させたりする等の乱暴な取扱いは、行わないで下さい。
高く積載するときは、荷崩れしないように取扱って下さい。
また、直射日光や風雨にさらされないようにカバーをして下さい。
- 14. 10 緊急時応急措置指針番号 : 該当しない

15. 適用法令

(1) 労働安全衛生法

- 製造等が禁止される有害物 : 非該当
- 製造の許可を受けるべき有害物 : 非該当
- 健康障害防止指針公表物質 : 非該当
- 変異原性の認められた化学物質（既存化学物質） : 非該当
- 変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質） : 非該当
- 名称等を通知すべき危険物及び有害物
法第 57 条の 2（施行令別表第 9）
化学名：カーボンブラック、番号：130、含有量： $\geq 0.1 \sim < 1\text{wt}\%$
名称等を表示すべき危険物及び有害物 : 非該当

(2) 消防法 : 危険物、指定可燃物に該当しない。

(3) 特定化学物質障害予防規則 : 非該当

(4) 鉛中毒予防規則 : 非該当

(5) 四アルキル鉛中毒予防規則 : 非該当

(6) 有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

(7) 労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物） : 非該当

(8) 毒物及び劇物取締法 : 非該当

(9) 化学物質排出把握管理促進法 : 非該当

(10) 火薬類取締法 : 非該当

(11) 船舶安全法 : 危険物として規制されていない

(12) 航空法 : 危険物として規制されていない

- (13) 高圧ガス保安法 : 非該当
- (14) 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律
 - ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない
 - 個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない
- (15) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物

適用法規情報 :

この製品に関する貴国または地方の規制について調査することは、当社としては行ないかねますので、この問題は貴社の責任で処理願います。この製品に関する貴国または地方の規制を遵守して下さい。

16. その他の情報

最新版改定日と変更箇所

改訂日 : 2025 年 6 月 24 日
改訂項目 : 全面改訂

責任の限定について :

製品安全データシートは、当該製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の通常の見取りを前提として作成しています。特別な見取りについては、用途、用法に応じた安全対策を施してご使用願います。

以 上